ロンドンオリンピック代表選手選考について
«総合馬術競技»

平成23年**12月14日**改定

選考の手順

当基準に則って審査し、オリンピック等対策委員会の承認を得て、理事会で決定する。

なお、競技会期間中にチーム競技対象人馬を選考する場合は、監督に選考を一任する。

第30回オリンピック競技大会（2012/ロンドン）

2012年7月27日－8月12日（イギリス・ロンドン）

派遣予定数　５人馬

【代表となるための条件】

1. 第1次参加申し込み（JEFへの選手名の申込）を2011年12月28日までに完了していること。
2. 第2次参加申し込み(JEFへの馬匹名の申込)を2012年3月31日までに完了していること。
3. 選手は、JOCへの推薦締切日の約2週間前までに日本馬術連盟ナショナルチームのメンバーに認定されていること。
4. JOCの推薦締切日の約2週間前までに人馬のコンビでFEI出場最低基準（以下:MES）を取得していること。
5. 馬匹は、2012年4月1日時点で日本馬術連盟の登録馬であること。
6. 2011年12月31日時点でFEIパスポートの馬匹所有者が日本国籍であること。
7. JOC推薦の締め切り前の指定の期間内に、出場できる状態であることを証明した獣医師の診断書を提出すること。
8. 馬匹の年齢は、2012年において8才以上であること。

【選考基準】

1. チーム出場権利を取得した場合

i. 地域予選競技会でMESの資格認定成績（ただし、馬場馬術は減点６８点以内）で完走した日本チームの上位3人馬を代表として内定し、代表となるための条件を満たした時点で代表人馬とする。ただし、2012年1月1日以降、選考までにMESの認定成績を満たして完走していること。

〔内定2011.10.19〕

佐　藤　賢　希　　チッピー

土　屋　毅　明　　ジャックアビー

ii　上記ｉの内定後、最大派遣人馬数（5人馬）を満たすため、代表となるための条件を満たす人馬の中から下記の優先順位により選考する。なお、内定人馬と条件を満たす人馬の合計が5人馬以内の場合は、その人馬をもって代表とする。2011年10月～2012年**5月20日までの**FEI競技会の結果を基に選考する。

① CCI4*の大会において10位以内の人馬をその時点で内定とする。なお、同じ大会にて最大派遣人馬数を超えた場合には、順位の高い人馬を内定とする。

② 人馬でのBestのCCI3*/4*の順位の高いほうを上位とする。同順位の場合には比較した当該競技の総減点で順位付けする。（CCI3*とCCI4*は同等に扱う。）

- 上記 ii②の条件によりすべての候補対象人馬（MES 取得人馬）に順位をつけ、最大派遣人馬数（5 人馬）を満たすよう上位より選考し、その後欠員（人馬それぞれにて）が出た場合には最終派遣手続き締切日まで上位より順次繰り上げる。
- 2012 年 5 月 3 週目時点で、MES 取得選手が 5 選手のみであった場合、複数頭で MES を取得している選手は、派遣手続き締切日までに選手と監督で代表馬匹を決定する。
- 人馬の組み合わせを対象とし、派遣手続き締切日までに JEF 指定獣医師の馬体検査によって出場不適と判断された場合、内定取消しとする。